



東中学校だより(1) 令和7年4月7日

麓あかくそびえて建てり

校歌の一節より

佐久市立東中学校 〒385-0007 佐久市新子田 1396-1 Tel. 67-2392 文責: 傳田史和(教頭)



祝 ご入学

1年生の皆さん、ご入学おめでとうございます。保護者の皆さま、お子様のご入学、誠におめでとうございます。我が子の姿を見て、感慨もひとしおのことかと思ひます。

2・3年生および職員一同、心からお祝い申し上げます。

令和7年度がスタートしました

65名の新入生が入学しました。入学式の中で話された校長先生、新入生代表、保護者代表の“ことば”にもう一度ふれてみましょう。

入学式 学校長式辞より ～「本当のことが分かった」「本物の力がついた」と思える1年に～



やわらかな陽ざしと草木の瑞々しい香りが春の心地よさを伝えるこの良き日に、多くのご来賓、並びに保護者の皆様のご列席を賜り、令和7年度の入学式を挙行できますことに対し、心より厚く御礼申し上げます。保護者の皆様、本日はお子様のご入学、おめでとうございます。お子様の姿を見て、感慨もひとしおのことかと存じます。

中学校の三年間は、心も身体も急速に成長します。その成長の速さに悩まれることも多いかと思ひます。お子様のことで気になることがありましたら、遠慮なく、私どもにお伝えください。家庭と学校で、ともに手を取り合い、協力して指導にあたっていただければと思っております。ご支援・ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

さて、本日の晴れの日を迎えた六十五名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんが、実り多い中学校生活を送ることを期待して、本校の『学校目標』と『建学の精神』についてお話をします。体育館のステージ右側を見てください。学校教育目標「未来を拓く～主体性・挑戦・探究・おもいやり～」が掲げられています。今まさに、人類が今まで経験したことのないスピードで時代が大きく変化しようとしています。そういった予測不可能な時代を切り拓くために、失敗を恐れず挑戦し、生徒の皆さんが、「主体性を発揮し探究すること」を願ひ、決めた目標が『未来を拓く』です。「未来」とは、「夢と希望」であり「皆さんの可能性に対する期待」です。この皆さんへの願ひをこめた学校教育目標「未来を拓く」のもと、昨年度は、『縦割り総合による“探究的な学び”』が実施され、東中学校の歴史の中で、大きな一歩となりました。本年度は、「地域のために『自分達は何ができるか』」の問ひのもと、皆さんが、この活動をさらに発展してくれればと願ひています。

さて、学校教育目標「未来を拓く」の横の額の中に書かれている言葉を、皆さんは読めるでしょうか？

「流汗悟道(りゅうあせごどう)」と読みます。「汗を流して、道を悟る」これが、本校の建学の精神として、脈々と流れる言葉です。昭和三十年に四賀村と三井村が合併して東村ができ、本校の前身となる東村立東中学校が昭和三十三年に開校しました。この「流汗悟道」の言葉は、この開校当時、地域の方や保護者の方々「自分達の住む地域の学校を、自分達の手で」という思いで、汗を流し、校庭の整備や植樹など、学校の環境を整備してくださったことに、端を発しています。その勤労奉仕の作業はとてつもなく大変だったことが容易に想像できます。そこには、尊い汗と、本校への深い思いがこもっています。その思いがこの言葉になっているのです。

また、この言葉に込められた皆さんへの願ひは、「本気になって、汗が出るほど一生懸命取り組んで初めて、本当のことが分かり、本物の力がつく」という教えです。まさにこれは物事の『本質』です。中学校の三年間の様々な生活の中で、皆さんは、この『流汗悟道』、即ち「本気になって、汗が出るほど一生懸命取り組んで初めて、『本当のことが分かった。』『本物の力がついた』と心から実感する様々な経験をするのではないかと思います。そして、友や先生方と一緒に、このことを感じ、感動を共有してくれることを心より期待しています。生徒の皆さん素晴らしい一年にしましょう！

結びに、本日、公私ともご多用の中、ご臨席賜りましたご来賓の皆様にも重ねて御礼を申し上げますとともに、今後とも子どもたちのために学校のために、なお一層のお力添えをいただきますようお願い申し上げます。式辞といたします。

令和七年四月四日 佐久市立東中学校校長 芝野 崇

新入生代表のこたば ～1日1日を実りあるものに～



—前略—

私は6年間の小学校生活を終えて、今新たな第一歩を踏み出そうとしています。これから始まる中学校生活では、新しい出会いや初めての学校行事等に期待が膨らむ一方で、今までよりも難しくなる勉強と慣れない部活動の両立に戸惑い、立ち止まってしまうこともあるかもしれません。そんな時は先生方、そして先輩方からあたたかく、時には厳しくご助言をいただき、あきらめずに前に進んでいきたいと思ひます。

3年間という限られた時間の中で仲間との絆を深め、共に学び、高め合ひ、最高の思い出をつくっていきたくひです。先輩方が築きあげてこられた東中学校の歴史と伝統に恥じるこたなく、中学生としての責任と自覚をも

ち、1日1日を大切に実りある学校生活が送れるよう、精一杯努力します。

保護者代表のこたば ～やらぬ後悔よりやる後悔～



—前略—

皆さんの小学校6年間は楽しかったですか？楽しい時ほど時間が過ぎるのを早く感じるといひますが、人生百年時代と言われる今、皆さんの人生はまだまだ始まったばかりです。輝かしい未来が待っている皆さんですが、そんな皆さんでもできないこたがあった1つあります。それは過去に戻ることです。これから先、やらなかったこたを後悔するこたがあるかもしれません。しかし、その時に戻ってやり直すこたはできません。「やらぬ後悔よりやる後悔」という言葉が表すように、自分が期待した通りの結果が得られず思ひ悩むこたがあるかもしれませんが、やらずに迷うくらいなら一歩踏み出してみませんか？今という時間を大切に使うためにも、中学でしかできないこた、将来のための勉強、部活

や学校行事など、やってみたくひと思うこたは何でも挑戦してみてください。その行動がいつしか報われる時がきっと訪れるでしょう。皆さんの中学校生活が楽しくて、充実した3年間になるこたを願っています。

<学校教育目標>

未来を拓く ～主体性・挑戦・探究・おもひやり～

<重点項目>

- 1 総合的な学習を核とした『探究的な学習』
- 2 主体的・対話的で深い学習による授業
- 3 友や家族、自分を取り巻く人への『おもひやり』

新しい学校生活での不安や悩みは いつでも気軽に相談しよう！

新学期をむかえるにあたり、いつもと違ひ生活の中で知らず知らずのうちに心に疲れや不安をかかえてしまう人もいるかもしれません。そんな時は、「学校の先生」「お家の人」に話してみましよう。でも話せる人がいない…そんな時でもあなたの不安な気持ちを話せる場所があります。

○学校生活相談センター 0120-0-78310 (24時間対応)

○長野県こども支援センター 0800-800-8035 (月～土 10:00～18:00)

長野県教育委員会 心の支援課